

# 令和5年度 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

作成日

令和5年10月20日

法人名

園名

社会福祉法人照治福祉会

浦堂認定こども園

まとめ

全体平均

4.28

第2章第2節 乳児期の園児の保育	乳児期は、生活を中心に丁寧に愛情を持ちながら保育を進め、さらに質をあげていく為に、職員それぞれの価値観で保育をしないよう、常に疑問を持ち、問い続け、話し合いが必要だと改めて感じる。そのことにより、より丁寧に一人ひとりに寄り添った保育ができる。生きていく上で最も大切な、大人を信頼することの基盤ができあがる時期であることを自覚しながら関わりを持っている。
第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育	言葉として表現されない声や表情から、その子の思いを受け止め、食事・排泄・睡眠を丁寧にを行う。家族以外の大人と深く関わる子どもにとって、信頼される大人になれるよう、日々丁寧に保育を行っている。アートを通して、子どもの表現や行動を、見守る時間を大切にしている。日々の保育の中で、こども自身の気持ちを十分に受け止める事で、更に信頼関係を築くことができ、他者への興味・他者を受け入れる気持ちが芽生えてくる。
第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育	可能な限り、自分の興味・関心のある場所や物や遊びと向き合う時間を大切にしている。子どもの遊びがより深まるように、大人も子どもと同じ立場で語り合い、案を出し合い、遊びの切っ掛けやより深まるように準備をしている。大人が丁寧に言葉を手渡す、気持ちを受け止める、スキンシップを取ることで、子ども自身が自分が大切にされていることを実感、どの表現も評価されないことで、より自由な表現が生まれ、自分を大切にされている実感が自己肯定へと繋がる。自分を大切にできると、他社も大切にしようとする基盤を大切にしている。
第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項	看護師、栄養士、公認心理師など専門家と話し合うことで、子どもを多方面から見る視点ができ、話し合いの中での気付きを実践していくことで、子どもをより理解できるようになってきている。また、子育て中の保護者理解を公認心理士にアドバイスをもらいながら理解し、保護者と保育者の両方から、子どもへの関わりを丁寧にを行うよう動めている。
第3章 健康及び安全	食育の観点から、園の畑でできた野菜などを、種から植え、育て、収穫し、味わい、次の種を残す、作物の一連の流れを体験する中で、食に関する興味や理解を深めることになった。災害時の引き取り訓練をすることで、災害が起こった時の対応ができるようになる。コロナがあったことで、丈夫な身体作りを見直す食や身体の事を考える時間になった。看護師がいることで、身体の不調や心の不安など、子どもや職員のケアもしてもらいながら進めている。
第4章 子育ての支援	行事では、保護者が4～5名で輪になって話せる時間を設け、親としてではなく、一人の人として参加してもらって幸せ感を感じることに繋がっている。入園前から、話せる場を設けることで、子育てのストレスを軽減できているように感じる。クラウドファンディングを行い、地域や全国の方々に興味や関心を持ってもらい、協力してもらう機会を作ることができた。園庭環境がよくなってきたことで、地域の方の心地よい居場所にもなっている。
第5章 職員の資質向上	どの時も、振り返りの時間を持ち大切にすることで、子どもの活動や思いを深く知ることができる。職員自身の気持ちを語る雰囲気にもなり、自分自身を語ることで、自分の気持ちや人の気持ちの理解が深まる。振り返り自体が、研修に値する時間になっている。子ども理解をより深める為に外部の講師を招き、質向上に動めている。役職やポジションの理解や質向上の為、法人としても研修を年間で行い、実践と直結していると感じる。
総合	職員会議等で、どの意見も否定されない時間になってきている事で自分の気持ちが語れる安心安全な時間がある。その事により、語り合う時間の質が上がってきている。細かい会議が実施され、クラスの職員だけではアイデアができないことも何人もがあつまと良いアイデアが出て、保育の幅が広がってきている。公認心理士や身体専門家、造形作家、造園業、音楽アーティストなど専門家の時間を過ごすことで、子どもも大人も、自分の可能性を広げる、今を幸せに生きる時間になっている。また、保護者や地域の方々にも参加してもらい、保育への理解と繋がっている。職員、子ども、保護者同士、語り合いの場(わかる)をすることにより、自分の気持ちを語り合い、人の気持ちを聞くことで、前向きに考え過ごせる時間を持つことができている。

データ表

内容	項目数	平均
「乳児保育」	15	4.47
「3歳未満児保育」	32	4.16
「3歳以上児保育」	53	4.42
「教育保育の配慮事項」	16	4.81
「健康・安全」	29	3.86
「子育ての支援」	18	4.17
「職員の資質向上」	9	4.33
計	172	4.28

データグラフ

